

# おたがいさまニュース

第4号 2015.11.10  
発行：南医療生協  
おたがいさま運動推進委員会  
地域ささえあいセンター  
052-625-0650 (Fax0653)

**516**のおたがいさま  
サポーターが活躍しています



- ・組合員さん他 304名
- ・職員 212名

☆おたがいさま シート数 411件  
シート 内2015年度 102件

## おたがいさま事例

「救急医療情報キットを記入してあげた方が救急車を呼んだ時に、救急隊員がキットを利用して家族に連絡することができたの」

南生協病院の近くの集合住宅にお住まいのIさん。お隣の一人暮らしの91歳のHさんのことを気にかけて、お部屋の鍵を預かって声をかけあう暮らしをしていました。

今年の春ごろに、南生協の救急医療情報キットをおすすめするために、生協への加入をおすすめしました。Hさんは加入され、Iさんがキットの用紙を記載して冷蔵庫にシールをはってあげました。

10月の下旬、Iさんが外出先から帰ってきたら、Hさんが救急車を呼んでおり、救急隊員の方がキットを利用して緊急連絡先のご家族にほどなく、連絡をすることができました。

Hさんは、南生協病院に運ばれたとのことでした。

小さな困りごとを組合員のささえあいで解決することで、大きな安心につながっています。



## 10月のおたがいさまシート くらしの中での困りごと

### 柿の収穫に困っている

- ・ひとり暮らしで庭の柿の木の高いところがどうしてもとれない  
→名和の組合員さんが支援しているとお隣のご主人も手伝ってくださった

### 不用品の整理に困っている

- ・高齢者の二人暮らしで不用品の整理ができなくて困っている  
→名南ブロックの組合員さんがお手伝いされた

### 庭の草取りに困っている

- ・95歳の母と65歳の障害のある息子さんの二人暮らしで、草取りと周辺の片付けに困っている  
→大高西南支部で支援予定

### 受診・療養にまつわる

- ・在宅患者さんのじょくそう用のパッドを作ってほしい  
→ほしざきボウシアの会が対応

### いきがい・楽しみ・不安

- ・ひとり暮らしで退院後ひとりの時間が長いので男塾の方に話し相手になってもらいたい  
→名南ブロックの男塾の出番!!
- ・がんの終末期の方、買物や話し相手の支援がほしい  
→買物はひとりで行かれた。病棟ボウシアブロッコリーの毎週水曜日の班会に参加をおすすめした